



篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和6年1月31日

2月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 Tel.045-401-9532 fax045-431-9538

子どもたちを交通事故から守りたい

校長 松久保 伸子

朝可能な時には校門に立って子どもたちを迎えていると、「おはようございます。」と声をかけてくれる子どもたちがたくさんいる篠原小学校。中には「先生ご苦労様です。」と大人のように挨拶してくれる人もいます。「今日は寝坊しました。」などと正直に話してくれる人もいて、私にはとても有意義な時間です。このように登校指導をしていると、しっかりと道路の端を歩いている子どもたちの中に、あわてて走っていたり、おしゃべりに夢中で道路に広がって歩いていたたりする子どもたちも、少なからずいます。学援隊のパトロール報告書には、交通事故一歩手前だったというレポートも散見されます。子どもたちの視野は大人の60%程度だといわれています。大人は150度ほどの視野があるといわれているので、その60%となると、90度の視野しかないことになります。先日職員会議の時に、チャイルドビジョン(NPO法人CAPセンターJAPAN発行の疑似体験眼鏡)を使用して、教職員で子どもたちの視野を体験してみました。「左右にあるものは全く見えていない。」「これでは車が横から走行してきても見えていないでしょう。」「道いっぱい広がっていて危険だ、とまちの方から学校に電話が入るのも、子どもたちには周りが見えていないからなんだね。」などと意見が出されました。「危ないから気をつけなさい。」と声をかけるだけでは、子どもたちには何が危険なのか伝わりにくいのも、納得のいく体験でした。



昨年末に本校PTAより保護者様へ「集団登校廃止」のプリントを発出いたしました。登校班編制には大変な労力を要します。また地区によって人数や学年のばらつきが大きく、集団登校の付き添いや校外指導委員の選出が難しい実情も聞いておりました。集団登校で月に1回歩きながらご指導いただけたことは効果が大きかったと思うのですが、足掛け3年にわたりPTA本部と話し合いを深め、さらに学校運営協議会・自治会・子供会などとの協議を重ね、集団登校は長い歴史にピリオドを打つことにいたしました。この紙面を目にした地域の皆様には、初めてのご報告になりますが、どうぞご理解くださいますようお願いいたします。今後はPTAにご参加くださっている保護者の皆様が構成員となる学援隊の組織を中心に、皆様が参加できる日にちや時間に、子どもたちの見守りをお願いできればと考えています。詳しいことは今後、校外指導委員会から学援隊のお知らせとして、連絡があると思います。また地域の皆様には、日ごろ自治会のパトロールやボランティアとして、子どもたちの安全を見守ってくださり、大変ありがとうございます。2月6日のアフターランチミーティングには、代表者の方を子どもたちに紹介いたします。どうぞ今後とも子どもたちの安全の見守りをお願いいたします。登校時・下校時・放課後・休日、子どもたちはいつでも交通事故の危険性と隣り合わせです。学校の力だけでは、子どもたちを守ることはできません。どうぞ保護者様、地域の皆様のパワーをお寄せください。お願いいたします。